

第5回 東アジア U-22 ハンドボール選手権 試合結果・戦評報告書

競技日	7月1日(土)	試合番号	M9		
種別	男子	会場	花巻市総合体育館		
Aチーム名			Bチーム名		
日本			中国		
得点合計	小計		小計	得点合計	
34	16	前半	7	14	
	18	後半	7		

戦評

休養明けで気力十分の日本(JPN)を、最終戦を白星で飾りたい中国(CHN)が迎え撃つ。JPNは地元の声援を受けた⑮安倍と⑤玉川のコンビネーションで幸先よく先制すると、⑬牧野の巧みなゲームメイクを起点としてゴールを量産。守っては高さのある3枚目、機動力のある1・2枚目が安定して機能し、GK⑯坂井も体を張った好セーブを連発。CHNは劣勢の中、⑳ZHAOのミドルシュート、㉑CHENのポストプレーで対抗するも、その後は退場者が続出するなど流れが掴みきれないまま後半へ。

攻守ともに抜群の働きを見せていた③徳田の勢いは後半でも止まらない。この日7得点の左腕を起点とした速攻連取で、GK⑫CHUの好守も空しくCHNのゴールネットを揺らす。CHNは強靭なフィジカルを活かしPV⑧XIEが意地を見せるも散発。JPNはその後も⑮安倍が絶妙な逆スピンシュートを見せるなど得点を重ね、無傷の3連勝で韓国との優勝決定戦に臨む。

